# スターティアホールディングス | 3393

## Sponsored Research 2025年11月7日



# ネガティブ要素のない、順調な上半期の進捗

#### 2026/3期Q2決算レビュー

- ◆ スターティアホールディングス株式会社(以下、同社)は、11月7日に2026/3期 Q2(7-9月期)決算を発表。売上高は前年同期比6.6%増の5,875百万円、営業利益 が同3.6%増の816百万円、経常利益が同11.5%増の835百万円、当期利益が同 1.9%増の534百万円であった。Q1(4-6月期)と合わせた上半期の実績は、売上高 が期初計画を若干下回ったものの、各利益段階では期初の上半期予想を2~3% 上回って着地するなど、ネガティブ要素のない、順調な決算だったと言えよう。
- ◆ 会社側は2026/3期通期計画を据え置いた。達成されれば4期連続最高益更新となり、売上高営業利益率は12.4%、ROEは約25%と、前期と同程度の収益性を堅持できる見通しである。創業30周年の記念配8円を期末に実施し、従来の普通配(中間54円+期末63円)と合わせて2026/3期の年間配当を125円とする。

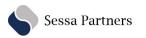
#### O2決算におけるセグメント別の概要

- ✓ ITインフラ関連事業では、MFP(多機能周辺機器)の仕入れ価格の上昇分を販売価格に転嫁したことで販売代理店の受注が鈍化したものの、PCの買替需要の取り込みと、引き続き高まるサイバーセキュリティ需要を背景にネットワーク関連機器の販売が堅調に推移し、フロー売上は同7.8%増となった。電力小売りと法人向けトータル・サポート・サービス「ビジ助」の受注などのストック売上も同2.6%増と順調に積み上がった。人件費増などでセグメント利益は同7.3%減益の556百万円となったが、計画に織り込み済みだった。
- ✓ DXソリューション事業は、クロスセル・アップセルの強化によりARPU(1社 あたりの単価)が同13.3%増加し、同セグメント売上高に占めるサブスクリプションモデルによるストック売上割合は83%に達した。セグメント売上高は同10.2%増の1,196百万円、セグメント利益は同27.4%増の242百万円と大きく伸長した。

※ SIRでは取材後にフォローアップレポートを作成・発行する予定である。

百万円	売上高	YoY (%)	EBITDA	YoY (%)	営業 利益	YoY (%)	経常 利益	YoY (%)	当期 利益	YoY (%)	EPS (円)	DPS (円)
2023/3	20,004	24.9	2,258	241.1	1,724	400.0	1,844	232.9	1,212	26.5	135.11	41.00
2024/3	19,571	-2.2	2,712	20.1	2,282	32.4	2,253	22.2	1,546	27.6	165.32	69.00
2025/3	22,211	13.5	3,235	19.3	2,737	19.9	2,784	23.6	1,960	26.8	206.29	114.00
2026/3会予	24,100	8.5	N/A	-	3,000	9.6	3,000	7.7	2,000	2.0	211.43	125.00
2025/3 H1	10,770	8.7	1,565	5.1	1,322	2.5	1,338	2.2	1,013	19.1	106.63	46.00
2026/3 H1	11,512	6.9	1,667	6.5	1,409	6.6	1,424	6.4	936	-7.6	99.91	54.00

出所:同社IR資料よりSIR作成 \*EBITDA=営業利益+のれん償却費+株式報酬費用。 SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。



## 02 Flash



シニア・アナリスト 杉本 研一

research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託 を受けてSESSAパートナーズが 作成しました。詳しくは巻末の ディスクレーマーをご覧下さい。



#### ディスクレーマー/免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したものですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。

